



5万分の1地質図幅の新刊

## 秋田地域の地質

(秋田〔6〕第11号)

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

著者 藤岡一男・大澤 穰・高安泰助・池辺 穰  
発行 工業技術院地質調査所(1977.2.21)  
取扱先 地学文献センター(0423)62-5050

・東北地方秋田油田地域は 大正一昭和初期の地質調査所による油田調査にはじまり その後 秋田大学・秋田県・石油資源開発KK・帝国石油KKなどによって詳細な調査が行なわれた。

・最近は大陸棚油田の探鉱が活発に実施されていて 陸上でも深度2,000~3,500mにおよび 地下深部の層序・構造を明らかにするための試錐が多数掘さくされ この数年間に地下深部の地質構造が飛躍的に明らかになってきた。

・「秋田」地域の地質は秋田大学の藤岡名誉教授・高安教授および石油資源開発KKの池辺博士をわずらわし 主として大澤が5万分の1地質図幅としてとりまとめた。この種のシリーズとして 昨年出版とした「羽後和田」地域の地質よりも さらに多数の試錐資料を使用し 地下深度最大4,000m 以上におよび地質断面図を作ることができた。

・研究報告のP.12~23の第4図~第15図(地質構造・走向線図および試掘井付近の地質断面図)は 国・秋田県・石油資源開発KK・帝国石油KKなどの未公表データを多数使用して作ったもので この研究報告の目玉である。

・第4図と第5図は第四紀層をはいだ場合の秋田地域の地質構造と走向線図 第6図と第7図は同地域の地下深度500mの地質構造と走向線図 第8図と第9図は同じく地下深度1,000mの地質構造と走向線図 第10図と第11図は同じく地下深度1,500mの地質構造と走向線図および第12図は同じく地下深度2,500mの地質構造である。第13図は深度3,520mの掘川AK-1試掘井付近の地質断面図 第14図は深度3,000mの新城川AK-1試掘井付近の地質断面図

および第15図は向浜AK-1試掘井付近の地質断面図である。

・新第三系の各層の岩相変化・層厚変化および有孔虫による細かい分帯を行ない 地層の細分に対する古生物学的証拠について詳述している。

・この種の地質図は 油田地質の詳細を明らかにするのみならず 国土の実態についてのありのままの資料として さらに構造地質学の発展のための基礎的資料としての利用価値が高いであろう。

・地質調査所で出版している 各種地質図類や 地学文献速報などは下記で販売しております。御希望の方は直接センターへどうぞ

東京都府中市栄町1-18-16  
地学文献センター  
Tel(0423)62-5050

地質ニュース	第274号	6月号
	定価 ¥ 420	〒 50
昭和52年6月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951(代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物中入部
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	